

産業建設常任委員会委員長報告

(令和5年9月26日)

産業建設常任委員会に付託されました議案について、
審査の経過概要と、その結果を報告します。

まず、第1号議案、令和5年度亀岡市一般会計補正予算（第4号）の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、

- ・ 農林水産業費では、公共施設の安全で適正な管理の観点から、老朽化した天川共同作業所の除却に要する農業事務経費や、学校給食に使用する有機米の生産支援などに要する有機農業推進事業経費の増額補正。
- ・ 土木費では、亀岡市土地開発基金で先行取得している街路事業馬堀停車場篠線（第2工区）の代替用地について、買戻しを行う街路事業費の増額補正。
- ・ 災害復旧費では、令和5年5月豪雨において被害を受けた農地の復旧経費として、現年農業用施設災害復旧事業費の増額補正であり、

採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第46号議案、市道路線の認定は、市道路線について、1路線を認定するものであり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが本委員会の報告といたします。

一般会計補正予算（第4号）可決（全員賛成）

・有機農業推進事業経費6984千円増

○自然と調和したエコ農業を支援

市内製造の畜産堆肥を共同購入し、農地に施用する農家組合などに対して費用の一部を助成する経費について、資材価格高騰などを背景として増加が見込まれることから経費を増額する。

【主な質疑】

問 さくら有機と、

○学校給食への有機米導入を支援

学校給食への有機米導入拡大を目的に、有機米の生産を促すため通常米との差額を支給しており、収量の増加が見込まれることから経費を増額するもの。

【主な質疑】

問 収量が大幅に増加することとなった要因は。

その他の畜産堆肥の施用比率は定められているのか。

答 どの堆肥を施用するかは各営農組織に委ねている。

意見 亀岡市土づくりセンターで製造するさくら有機の利用促進に取り組まれない。

答 学校給食に使用する有機米の栽培農家を募集したところ予想を上回る応募があった。

問 今後の生産拡大の目標は。

答 令和9年度までに市立小学校における給食への有機米導入率50%を目標としている。